

横浜市福祉サービス第三者評価 評価結果総括表（保育分野）


事業所	横浜市汲沢保育園
報告書作成日	平成29年 3月 24日（評価に要した期間 約3か月）
評価機関	公益社団法人 けいしん神奈川

評価方法

自己評価 （実施期間： 28年 10月 17日 ～ 28年 11月19日）	領域ごとに職員が原案をまとめ、その結果を全員で討議・まとめを行い、園長が全体を集約した。
評価調査員による評価方法 （実施期間：28年12月14日、1月23日）	評価調査員3名が現地視察と書類確認、面談でヒアリング調査（園長、副園長、主任、保育士、調理師）を行い評価した。
利用者家族アンケート実施方法 （実施期間：28年10月17日 ～ 10月31日）	全利用者（園児）の保護者に保育園から手渡し、評価機関が準備したアンケート回収箱（各保育室に5個）を準備し、保護者から直接投函、評価機関が直接回収する方法をとった。 対象家族67世帯、回収数60 回収率89.6%。
利用者本人調査方法 （実施日：28年12月14日、15日）	・観察調査は園内で実施した ・聞き取り調査は幼児を中心に、食事中、保育中を中心に実施した。

評価結果

評価領域Ⅰ 利用者（子ども本人）の尊重

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>Ⅰ－1 保育方針の共通理解と保育課程等の作成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育理念と保育方針は、正面玄関、各クラスに掲示するとともに、事務室には保育理念・保育方針に加え、園目標・保育方針が掲示され、全職員の理解を図ると共に、保護者にも意識してもらえるように工夫しています。またカリキュラム会議で保育方針を見直し、職員間の共通理解を図るとともに、園だよりでは園目標を毎月のせ、保護者に意識してもらえるように工夫しています。 ・保育課程は年度ごとカリキュラム会議にて全職員が話し合いを持ち、振り返りを行い改訂しています。また、各クラスに保育課程を掲示し、年度初めのクラスの懇談会で保育課程について保護者に説明しています。 ・年間指導計画は保育課程に基づき、子どもの様子や気持ちを配慮し、かつ年齢別に作成しています。乳児は一人一人の月齢や発達を考慮し、他の園と同様、個別に指導計画を作成しています。年間指導計画はカリキュラム会議で担任以外の職員も同席して話し合い、理解を深めつつ見直しや改善を行っています。保育士と福祉員間での話し合いの時間を持ち、子どもの様子の理解を深めたり、各職員間でお互いのクラスで気が付いた点は、その都度アドバイスし合える関係を作っています。

I-2 子どもの 発達や状況に応じ た適切な援助の実 施



- ・入園前の説明会では担任になる保育士が面接を行い、入園時にそれまでの発達状況は健康記録台帳に記入し、入園後は年2回記録を加え、子どもの発達や課題を把握しています。個人面談は年一回または必要に応じ適宜行い、面談表には過去の面談結果がわかるようになっており、情報共有しながら保育に活かせるよう工夫しています。また、面談の記録は全員が閲覧できるようになっており、情報共有を図りながら保育にあたっています。
- ・新しく入園する子どもの受入時は、園生活に慣れるまでの間、短縮保育を行い、特に初日は親子で過ごしてもらい安心して園生活に慣れていけるように配慮しています。短縮保育は一人一人の家庭の事情により調整して、無理なく園生活に慣れるようにしています。入園時には保護者に子どもたちの様子を写真などで掲示してわかりやすくしています。また保育室入口に担任の写真を掲示し、保護者にわかるようにしています。園と保護者の連絡は、乳児については、連絡ノートで排泄、睡眠、食事など家庭と園で一日としての生活の姿が分かりあえるようにしてあります。幼児クラスについては、クラスノートで毎日の様子を知らせています。また登降園の際に子どもの様子をわかりやすく伝えていきます。職員は、新入園児の名前を名札を利用して全職員が名前を覚え、情報を共有し保育にあたっています。子どもの様子や家庭環境については毎月の職員会議で討議を行い、毎日のミーティングで職員全員が共通認識を持てるように連絡を取り合っています。同時に保護者の気持ちに寄り添いながら信頼関係を築けるように配慮しています。
- ・子どもの発達や状況に応じて年間指導計画を作成し、それを4期にわけて実行し、必要に応じて見直しを行っています。また月間指導計画はクラスの担任間で話し合い、月ごとに振り返り、見直しを行っています。指導計画はカリキュラム会議などを通じて福祉員も交代で参加し、思いを共有できるようにしています。計画に保護者の意見も入れるため、廊下にご意見箱を設置し保護者の意向を伺えるようになっており、運動会、お楽しみ会などの大きな行事の後にはアンケートをとり、保護者からの意見や声を汲み取り保育にあたっています。

I-3 快適な施 設環境の確保



- ・室温、湿度の管理を行い、空気清浄機、扇風機、エアコンを適切に活用しています。夏は遮光ネット、すだれ、ゴーヤのグリーンカーテンを利用して夏の日差しへの対策を行い、子どもが快適に過ごせる環境への配慮をしています。4, 5歳児の保育は同じ部屋で行っていますが、お互いの活動が邪魔にならないよう、活動をずらすなど工夫したり、棚やじゅうたんなどを使用して仕切りをしたりして空間の確保を行っています。
- ・室内にあるシャワーを適宜使用し、清潔を保てるようにしており、おもらしがあつた際には必ず温水シャワーをして清潔にしています。また、シャワー使用後はシンクの清掃を行い、清潔を保っています。さらに戸外にも温水シャワーができるようにしています。
- ・異年齢交流年間計画を作成し、異年齢間で交流を持てるように担任同士連携し合い、遊びごとにコーナーを設けたりして室内環境を工夫しています。乳児クラスは担任同士や他のクラスと連携し、3, 4, 5歳児の幼児クラスは3人組小集団を編成して異年齢での集団活動や、異年齢合同でのリズム遊び、誕生会の集会などを実施し、交流の時間を定期的に設けています。食事中は布団を敷かないようにして衛生面での配慮を行い、食事と午睡時間をはっきりと区別できるようにしています。また、つい立てを利用し遊びと睡眠を分け、快適な午睡を確保しています。

I-4 一人一人 の子どもに個別に 対応する努力



- ・子ども一人一人に応じて保育目標を設定し、個別支援計画を作成しています。1、2歳児の乳児は月間指導計画に個人別の育成を記載しています。全年齢を通してクラスの中で気になる様子のある子は個別支援計画を作成し、カリキュラム会議で検討を行っています。保護者とは年1回、個人面談を実施し、情報を共有しながら対応を検討し、かかわれるようにしています。会議の場では全体に情報を伝え、職員間でアドバイスし合い共通理解がもてるようにしています。
- ・発達に応じた対応をするため、入園時に家庭の状況を児童票に記録しています。また健康状態は入園時およびそれ以降年2回、健康記録台帳で記録し管理しています。また、毎月測定する体重、身長を記入した「健康の記録」、園と保護者間で共有している毎日の体温を記入した「健康カード」で日々の記録をしています。入園から卒園までの保育経過記録で発達の過程や家庭や子どもへの配慮事項などを記録しており、進級時に担任が変わっても子どもの状況がわかるようにしています。クラスの保育状況はクラス引き継ぎ表として活用し、どの職員が読んでも対応できるようにしています。また各記録は「会議録確認表（チェック表）」を活用し、全職員が目を通すように工夫しています。

I-5 保育上、特 に配慮を要する子 どもへの取り組み



- ・配慮を要する子の情報、対応は個別支援計画を作成し、月間指導計画を立案し、カリキュラム会議で話し合い、共通理解しています。また書庫内の記録を全職員が見ることができ共有しています。また横浜市戸塚地域療育センターの巡回相談を受け、内容を共有しています。保育士が研修に参加し学んだことは回覧や園内研修して全職員に周知しています。
- ・障害児保育は環境整備において限られた設備の中では難しい面もありますが、その子に合わせ、環境整備と保育内容の整備を行っています。具体的には入所前に体験保育を行います。入所後の保育では個別指導計画が立てられ、担任が会議で内容を職員に伝えるとともに、全職員は議事録に目を通し、内容を把握して共有しています。療育センターからの巡回相談で話し合いや助言をもらい、その内容を全職員で対応しています。職員は療育センターで実施する実地研修、障害児研修に積極的に参加し、後日園内研修をして内容を共有しています。配慮が必要な子が他の子どもに対しては自然に触れ合えるように援助したり、絵カードなどを利用して、見通しがもてるように配慮しています。
- ・虐待を疑われる子どもの早期発見と適切な対応に努めています。職員は朝夕に保護者と挨拶し、言葉を交わし、保護者からの子育ての大変さの訴えなどに耳を傾けるなど、毎日朝の観察をしっかりと行っています。保護者の変化、様子など気になることがあった時はすぐに園長や他の職員に伝えるようにしています。また、連絡なく2日欠席が続いた時は電話を入れ確認をしたり、場合によっては傷跡など写真で記録したりして、見守りが必要な家庭の情報を職員間で共有しています。さらに、虐待に関する研修を受講した職員は園内研修でその内容を全職員に発表したり、カンファレンスに参加し、児童相談所や福祉保健センターと連携したりしています。
- ・アレルギー疾患のある子どもへ除去食を配膳する場合は、専用の食器やトレイを使用し、トレイにネームプレートをつけて区別して対応しています。また台拭き、雑巾などは色分けして専用のものを使用し、一目でわかるようにしています。配膳の時は職員と調理員と声を出して必ず確認を行い、毎日のミーティングで除去食の確認を行い、全職員が除去の状況を確認しています。保護者とは献立をもとに毎月話し合いをして除去食の確認をしています。研修に参加した職員は園内研修や研修報告を行い、アレルギー食に対する意識を全職員が高めるとともにお互いに情報共有しています。

I-6 苦情解決

体制



- ・保護者が保育に関するサービス内容や苦情や不満がある場合の対応を行っています。要望や苦情の受け付け方法としては、アンケート、ご意見箱、送迎時の話し合い、第三者委員への連絡などがあります。主要な行事実施後に保護者からのアンケートをまとめ、結果報告し、次の行事や日々の業務に反映させています。行事の際は第三者委員を保護者に紹介しています。またご意見箱を設けることで、意見が寄せやすいように工夫しています。
- ・苦情については、入園説明会で苦情解決のための仕組みは第三者委員会の件も含め説明を行うとともに、入園のしおりに第三者委員の連絡先を明記しています。職員個人での対応や判断が困難な場合は、園長や他の職員とその都度話し合い対応しています。送迎時に職員と保護者が気軽に質問や相談ができるように努めており、遅番担当者もクラスに入り保護者に同様の対応をしています。
- ・要望や苦情に対しては迅速に対応して解決するようにしています。持ち込まれた内容に対して各種会議を通して職員全員が情報を共有し、話し合いと対応を迅速に実施しています。行事などのアンケートに対する結果は保護者に迅速に報告するとともに、実行を図っています。また外部との連携として、第三者委員の方と連絡を取り合い、いつでも話し合えるようにしています。

評価領域Ⅱ サービスの実施内容

評価分類

評価の理由(コメント)

Ⅱ-1 保育内容

[遊び]



[遊び]

- ・子どもの成長や季節に合わせて部屋のレイアウトを設定し、玩具を入れ替えています。玩具の出し入れがしやすいように置き場所に写真を貼って子どもたちが目で見て片付ける場所がわかるようにしています。定期的に玩具やコーナーの設置などの見直しをしています。コーナーを作り遊びに集中できるようにしています。じゅうたんや敷物、柵などで区切り、落ち着いて遊べるコーナーを作っています。誤飲に配慮した玩具を設定しています。
- ・週案を立て、遊びの内容を確認しています。自由遊びと一斉活動のバランスに配慮しています。一人一人の子の興味を把握して遊びに取り入れています。子どもたちの好きな話から表現遊びに発展するように保育に取り入れています。子どもの発想から生まれるごっこ遊びをみんなで楽しめるようにしています。遊びに迷っている子に言葉をかけ、玩具の提供をしています。遊びに広がりが出るような言葉かけ、設定などを行っています。
- ・図鑑や生き物の絵本などがあり、園庭や散歩先などで見つけたものをすぐに調べられるようになっています。散歩先で拾ってきた木の実などを製作に取り入れています。計画的に散歩の機会を多く持ち、出会った方に声をかけ挨拶をしています。子どもたちが栽培したナス・ピーマンなどの収穫物を使って調理活動をしたり、製作活動をしたりする食育や表現活動につなげています。年長児が七夕の笹飾りや行事の案内を近隣に配り、園内では行事で近隣住民の方と接する機会を設けています。園庭開放や交流保育で地域の子育て家庭の方と触れ合う機会を設けています。
- ・子どもが自由に製作できるように環境設定を工夫しています。保育室に簡単な楽器やおもちゃのマイクなどを設定し、自由に取り出せるようにしています。子どもが自由に描けるお絵描き帳を各自の道具箱に入れていきます。

ブロックで作ったものを飾ったり、途中のものを置いておけたりするスペースを設置しています。子どもの作品が保育室のレイアウトの一つとして飾られてあり、親子で見たり触れたりすることができます。

リズム遊びは月2回取り入れています、一人遊びと集団で行う「リズムあそび年間計画」のカリキュラムに基づいて計画的に行っています。

- ・幼児クラスは異年齢で3人の仲良しグループを作り、運動会では一緒に活動する機会を作っています。散歩やリズム遊び、お手伝いなど異年齢交流の場を作っています。

年長児は各クラスにお当番活動に行き交流をもっています。園庭で一緒に遊び、自然な関わりがもてるようにしています。子ども同士のけんかは危険のないように見守り仲立ちしています。

- ・園庭の木に吊り輪をかけて運動あそびを取り入れています。散歩先は斜面のある公園、アスレチックのある公園など積極的に取り入れています。リズム遊びは発達に応じた動きを取り入れ、計画的に行っています。

屋外では紫外線対策用の帽子を着用しています。屋上活動時には遮光ネットを活用しています。プール遊び、水遊びの時は遮光ネットをかけ強い日差しを受けないようにしています。

幼児の個人ごとの健康カードを活用し、健康状態の把握に努めています。皮膚疾患の子どもに対し与薬依頼に基づき薬を塗って対応しています。

Ⅱ-1 保育内容

[生活]



[生活]

- ・楽しい食事を心がけ、箸の持ち方や姿勢について正しい食習慣が身に着くような言葉かけや対応をしています。バイキング形式の給食を取り入れ自分で盛り付ける経験をし、食に関心をもたせています。

子どもと一緒に給食を取りに行くときは調理担当者に一緒にあいさつをしています。育てた栽培物を収穫し調理体験などを行っています。献立の食材を見たり、ジャガイモ・トウモロコシの皮むきを保育の中で行ったり興味や関心もてるようにしています。

年齢に応じた当番活動を取り入れています。当番活動の中に簡単な配膳やあいさつを取り入れ、食事への意欲につなげています。

その子の体調やペースに合わせ食事をすすめています。苦手なものは無理強いせず、声をかけて意欲をもたせるように援助しています。

- ・磁器の食器を使用し、子どもの成長、発達をみながら適切な食器や食具を提供しています。食材を園の畑やプランターなどで栽培し、調理体験を通して食事が楽しみになるようにしています。

「子どもパーティー（クリスマス会）」で仲よしグループの会食の機会を設定したり、レストラン風にしたりするなど楽しい雰囲気づくりを工夫しています。テーブルをきれいにし、ランチョンマットを使用したり、花を飾ったりして雰囲気づくりをしています。行事に合わせたメニューや、季節の旬のものを工夫して提供しています。

保護者に手作りルーのカレーライスやポタージュのレシピを提供し、給食のサンプルも展示しています。

アレルギー食への対応や安全な食材を使つての調理を行っています。アレルギー疾患のある子どもの食べ終わったあとの動線は安全性に配慮して環境を設定しています。

職員も指導食で同じ物を食べ、おいしさを共感しています。

- ・毎日のミーティングの中で食事の喫食状態を報告しています。乳児クラスでは毎朝保育士と調理の連携をとり、細かい連絡をしています。食器の受け取りや返却時など食事の様子や食材など口頭で話し合っています。

目で見て食べる意欲がわくような盛り付けをしています。行事の時にケーキを

デコレーションするなど工夫しています。

栄養士訪問の際など調理担当者と一緒に食事の様子をみています。

- ・給食だよりを事前に保護者に配布しています。食事サンプルの展示をし、同じ場所に人気メ園だよりに人気メニューなどを紹介していますニューのレシピを提供しています。入園時には保護者に食事の様子や形態を見てもらっています。

各保育室に子どもが塗り絵をできる「ぱくぱくだより」の掲示をしています。

- ・1・2歳児のブレスチェック表を作成し確認しています。布団の場所、周囲のタンスなど午睡環境に配慮し、子どもたちが落ち着いて休息できるようにしています。場合により、ついたてを用意して一人一人の休息に対応しています。眠れない子どももゆったり過ごせるように布団の場所を工夫しています。

安心して眠れるように身体をさすり言葉かけをし、子守歌を歌っています。

年長児は年明け以降活動や様子に合わせて休息したり、午睡をしたりしています。

- ・一人一人の排泄のタイミングを捉え対応しています。トイレトレーニングは家庭と連携をとりながら個人の発達に応じた対応をしています。家庭と連絡を取り合って、子どもに負担がかからないように進めています。トイレに装飾をしてトイレに興味をもち、トイレトレーニングが進むよう工夫しています。

シャワーをする時は成長に合わせてカーテンを使用しプライバシーを守るようにしています。乳児用トイレにもドアがありプライバシーが守られています。

II-2 健康管理・衛生管理・安全管理 [健康管理]



[健康管理]

- ・健康管理マニュアルに沿って、日々の健康観察を行っています。毎朝保護者に子どもの健康状態を確認しています。幼児は「健康カード」を使用し、受け取り時に確認しています。引き渡しに際しては職員が

「健康カード」を手渡ししながら子どもの様子を伝えていきます。体調、身体面での変化など保護者とやりとりしています。

入所時に健康台帳に既往症、体質などを記載してもらっています。

歯科健診で歯科衛生士による歯磨き指導の実施、年長児は赤染体験、仕上げ磨きを実施しています。歯磨きは1歳児クラスも子どもが落ち着いた時期から行っています。歯磨きや、手洗いなどやり方をわかりやすく掲示しています。

個人情報配慮したうえで、感染症を知らせる掲示を掲示板や各クラスで行っています。



看護師訪問による健康指導を実施し、看護師から手洗いうがいの大切さの話を聞いています。

- ・年2回行う健康診断や毎月行う身体測定の結果は「健康の記録」にて保護者に知らせ連携しています。歯科健診の結果は歯科健康診断結果のお知らせにて保護者に知らせ連携しています。診断内容や通院内容を把握し、保育に配慮しています。子ども一人一人の健康の記録を作成し、診断結果や計測記録を健康台帳に記入するとともに保護者に確認してもらっています。

- ・感染症対応マニュアルがあり、職員はいつでも確認できるようになっています。保育中に発症した場合は保護者にすみやかに連絡し、保護者の事情に配慮した対応をしています。他のクラスとの接触を避け広がらないよう配慮しています。感染症流行時は発生したクラスの子どもたちにマスクの着用を依頼しています。個人情報を配慮したうえで、症状を含めた感染症の情報を掲示板や各クラスで行っています。

登園時子どもに手洗いうがいをお願いし、保護者にも手洗いや消毒液の使用をお願いして感染症の予防に努めています。

戸塚区役所の生活衛生課が主催する感染症に関する研修への参加や、職員への

	<p>周知を行っています。横浜市こども青少年局からの保健便り「すくすく」を保護者に季刊発行しています。</p> <p>既往症については健康台帳で確認できるようになっています。</p>
<p>Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 【衛生管理】</p> 	<p>【衛生管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> 衛生管理マニュアルがあり、職員はいつでも確認できるようになっています。各保育室の入口に手指を消毒するスプレー容器を備えています。清掃はチェック表があり、毎日の衛生管理がなされています。室内の清掃は掃除機を使い、手が触れるところの拭き掃除をしています。廊下は毎日モップで清掃をしています。トイレは昼間の点検・マットの交換を行い、夕方は床・壁をすべて拭いています。清掃時乳児の玩具を、消毒液で毎日拭いています。乳児の玩具は消毒液で拭いています。幼児については拭き掃除を行っています。手洗いなどやり方をわかりやすく掲示し、子どもたちに教えています。子どもは食事前に消毒液で手洗いをしています。台拭きは使用の度に新しいものにして清潔を保っています。嘔吐物の処理セットが各クラスに常備されています。嘔吐物や便に触れる時はビニール手袋を使用することを全職員に周知し徹底しています。
<p>Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 【安全管理】</p>  <p>(</p>	<p>【安全管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> 火災や地震、不審者侵入に対応した安全管理マニュアルがあり、職員はいつでも確認できるようになっています。事務室には緊急連絡時の方法が貼ってあり緊急連絡体制を整えています。緊急時の園内や外部機関への通報、関係部署への連絡・保護者へのメールや伝言ダイヤル171を併用した連絡を行えるようにしています。災害発生時に保護者に緊急メールを配信しています。火災・地震対応の避難訓練を毎月実施し、地域の避難場所への誘導訓練や保護者への引き渡し訓練を計画に入れ行っています。訓練ごとにクラスの動きや園全体の動き、課題点を検討し、安全な訓練ができるようにしています。定期的に消防署に訓練を公開し、指導をうけています。クラスでの安全点検を毎日行っています。安全点検は早番が担い、担任以外の多くの職員が目目チェックするようにしています。安全上気が付いたことは、職員ほかアルバイトを含め通知しています。定期的に救急救命法の研修に参加し、回覧または園内研修をして伝え合うようにしています。 近隣の医療機関の一覧表を事務室に掲示しています。怪我の状況をすぐに園長に報告しています。引き継ぎ、ミーティングなどで怪我の報告は職員間でも報告され保護者へもきちんと状況を説明する体制となっています。ヒヤリハット表を作成し、ミーティング、会議で検討しています。 不審者侵入を想定して年6回、定期的に防犯訓練をしています。訓練後反省、検討しています。一日中施錠を行っています。午睡時の窓や出入口の施錠をしています。使用していない部屋を施錠しています。警察からの連絡体制がとられています。戸塚区犯罪・防犯メール配信サービスで情報を得ています。警察と連携し、子どもたちに対して防犯についての話をしてもらう計画をたてています。近隣住民との関わり、ふれあいを大切に、関係をつくる努力を行っています。

Ⅱ－３ 人権の尊

重



- ・子どもの人格を尊重しながら、保育にあたることを心がけています。子どもの話をよく聞き、自尊心を傷つけるような保育はしないように心がけています。子どもへの声かけは職員間でも相談し話し合うようにしています。子どもに対していねいに関われるよう、自分自身の気持ちにゆとりを持ち、落ち着いて関われるようにしています。
子ども同士のトラブル時お互いの話を聞いて対応し気持ちを受け止めています。言葉遣いなど個々の職員で配慮し、職員間で互いに話し合える関係を築いています。
人権研修を定期的に受け園全体の意識向上を図っています。
- ・部屋の一角にコーナーなどを設定して落ち着いて過ごせる場所を確保しています。棚や手作りのついたてで仕切りをすることで、落ち着いて過ごせるコーナーを作っています。必要に応じて仕切りをしたりすることで、一人で過ごせる場所を確保しています。
プライバシーや一対一で話し合える場所は部屋のコーナーや廊下や踊場、屋上などを利用しています。
- ・個人情報取り扱いのマニュアルを職員に周知しています。守秘義務については研修などでも学び職員全体で共有し、配慮しています。コンプライアンス研修などでも、職員みんなで意見交換しています。
送迎時保護者との対応、連絡事項は他者に聞かれないように配慮しています。個人情報が含まれる配布物は、メール袋を使用し名前を確認し手渡ししています。外部に写真が転用される時は、必ず個別に確認しています。
個人情報が含まれる書類・記録などは施錠できる書庫に保管・管理しています。個人情報の取り扱いに関して、実習生、職場体験者、ボランティアの方にオリエンテーション時に伝えています。
- ・性差に関する表現は避け、発言があった場合には、互いに指摘し、話し合う機会を持っています。男女の遊び、役割においても区別しないようにしています。名前を呼ぶ順番は男女別にしないよう男女を分けず並ぶようにしています。自由遊びの中で男女関係なく、好きな遊びに入れるよう援助しています。男の子・女の子という意識を植え付けないようジェンダーフリーの観点から保育しています。

Ⅱ－４ 保護者と

の交流・連携





- ・入園のしおりで方針を明記し、説明しています。各保育室に園目標、保育方針を掲示し、懇談会などで周知しています。園だよりに園目標を毎月掲載しています。各クラスの年間目標・月のねらいを掲示しています。
保護者の意見を聞くために意見箱を設置し、運動会・お楽しみ会の後にはアンケートもとっています。送迎時、保護者の疑問や質問などをクラス担任に伝言し、連携を図り理解をえられるよう心掛けています。
- ・乳児クラスは連絡ノートにて様子を伝え、手渡しする時に保護者に直接話をしています。幼児はクラスノートにて日中の活動を伝え、健康カードを手渡しする時に個別に様子を伝えています。早番、遅番の機会を利用し直接担任が話をするようにしています。
懇談会で子どもの様子や保護者の意見などを聞き、話し合っています。
懇談会ではパワーポイントを活用して見せる工夫をしています。懇談会に出席できなかった保護者へは個別に伝えています。必要に応じ面談の機会を設けています。
- ・普段の会話の中から、困っていることを聞き取っています。相談を受けた内容は、職員間で共有し、適切な対応がとれるようにしています。内容によっては安易に即答せず、職員で相談して後で伝えています。
個人面談は面談中であることを表示し、担当者以外は別室に行くなどプライバ

シーに配慮をしています。個人面談の記録をつけています。記録は卒園までの経過がわかるようにクラス単位で記録していたものを個人単位に記録する様式にしています。



- ・毎月園だよりを発行し、クラスだよりと一緒に様子を伝えています。クラスノートやホワイトボードで一日の様子を伝えています。保育の様子がわかるように、行事や活動の様子を写真に撮り、掲示して伝えています。
- ・年間行事予定は年度初めに配布し、誕生会の保育参観や保育士体験の保育参加を積極的に受け入れています。保育士体験週間をクラスごとに設け、積極的に呼び掛けています。他の日でも希望があれば受け付けています。保育士体験の感想を園だよりに掲載し、気軽に誰でも参加できるようにしています。
- ・保護者会と共催の行事を一緒に行い、コミュニケーションをとっています。保護者会から希望があれば場所などの提供をしています。保護者会の総会に園長、主任が出席し、保護者会とは常に話し合いができる関係を作っています。保護者会の意見を把握し、次年度の計画に反映させています。


評価領域Ⅲ 地域支援機能

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>Ⅲ－１ 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に密着した園として育児相談、年3回の育児講座、様々な交流保育（屋上遊び、どろんこ遊び、リズム遊び、運動会ごっこ等）、毎月のランチ交流、プール開放、週3回の園庭開放等を積極的に行い地域と交流し子育てニーズの把握に努めています。園庭開放ボランティアがいて、園庭開放時やプール開放時に、育児相談や子育て支援の情報を得られるようにしています。 ・踊場地区センタープレイルーム、「ひよこクラブ」、汲沢地域ケアプラザの「プレママ・プチママ集まれ」に出向き出前保育を行うと共に子育てニーズを把握しています。出前保育では講座だけでなく遊びや子育て支援情報を提供しています。地域の親子を対象に貸し出し絵本「ぐみっこ」を実施しています。これら出前保育は年間30回程度実施しており、人気の育児講座の一つとなっています。特に離乳食講座はいつも時間が足りなくらいの人気ぶりです。 ・小学校や民間園と合同で研修等を行い、情報の共有を行っています。また七夕飾りを配ったり、運動会等の行事の前は地域に挨拶に行き地域との交流を深めています。 ・交流保育や育児講座の参加者にはアンケートを実施し、子育てニーズを把握しています。把握したニーズを保育園の運営に活かすために年度末の職員会議で話しあっています。会議で出た意見は翌年度の園の運営に反映しています。
<p>Ⅲ－２ 保育所の専門性を活かした相談機能</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民への情報提供は、園の外にある掲示板、町内会の掲示板、地区センターの掲示板を利用しポスターを掲示し情報提供に努めています。育児相談日、交流保育の実施日は地域の人の目に止まる場所にポスターを掲示しています。育児相談は月曜日から金曜日まで行っています。園庭開放や交流保育に参加した方からの相談にもその場で対応しています。 ・保育園の正面玄関に子育て支援事業のチラシ等を置き、見学や利用者の方々いつでも情報提要できるようにしています。チラシはA5サイズに縮小されたものもあり持ち帰りやすいように配慮しています。


	<ul style="list-style-type: none"> ・戸塚区役所や横浜市戸塚地域療育センター、児童相談所等、関係機関と常に連携をとれる様な体制が整っており、それぞれリスト化された情報が書庫に整理され格納されています。 ・関係機関の情報は職員会議やミーティングで職員全員に周知され、共有された情報を利用して積極的な連携が図られています。必要に応じ、横浜市戸塚地域療育センター等連携関係を紹介しています。
--	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



評価領域Ⅳ 開かれた運営

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>Ⅳ－１ 保育所の 地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の子育て支援のために「ひよこクラブ」、「プレママ・プチママ集まれ」及び地区センターで出前保育を実施し、地域コミュニティへ積極的に働きかけをしています。 園庭開放、絵本の貸出し、プール開放、交流保育、育児講座を行い、地域の方が気軽に利用できるようにしています。園庭開放は週3回実施しています。園庭だけでなく保育園の屋上で親子一緒に遊べるのが大きな特徴です。 ・教育機関との連携では中学生の職業体験や高校生のボランティアを積極的に受け入れています。近隣の高校生の劇を見て、一緒に遊ぶ交流をしています。 ・幼保小連携事業においては近隣の小学校や幼稚園と交流を密にしています。夏には教職員同士の研修があり、お互い顔の見える関係ができています。またネットワーク事業に参加することで他園との交流をはかり保育の質の向上を目指しています。 ・運動会等の行事でマイクを使用する際には、近隣に案内文を持って挨拶にまわったり、七夕まつりでは笹飾りを配ったり、職員自ら毎日園周辺の清掃を行い美化に努める等地域と良好な関係に努めています。また園児送迎時には駐車等の見守りを実施し周辺の方々に配慮しています。 ・ふれあい集会で地域の方と交流しています。散歩等で近隣の方に大きな声で挨拶をし、交流保育等へお誘いしたり、芋掘り大会での焼き芋を近隣におすそ分けしたりして地域との交流を図っています。 年長児は、卒園前の3月に近くの地域ケアプラザで高齢者の方々との交流を実施しています。大きな声での合唱に高齢者の方々はとても喜んでくださります。 ・近隣の小学校の運動会にも参加しています。園児と保育士が卒園した子どもを見学に行きます。未就学児童も参加できる競技があるので子どもたちも楽しみにしています。
<p>Ⅳ－２ サービス 内容等に関する情報提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園の情報は横浜市のホームページや区の広報誌、園外掲示板等で情報を提供しています。正面玄関すぐの事務所前の掲示板には、見学や利用に訪れる親子にいつでも子育て情報や保育園のご案内が提供できるようにポスターやチラシを用意しています。 ・保育園のしおりには、園目標、保育姿勢、保育時間、保育園の一日流れ等必要な情報を入れ提供しています。戸塚区の秋のイベントでは戸塚区役所内にポスターを掲示しています。 ・施設開放や交流保育等地域の方が来園しやすい保育園を心がけています。 ・保育園の見学は電話で希望する日時を聞き、常時希望に添えるよう配慮しています。見学者には保育園のしおりを渡し、保育時間や一日の流れ等説明してい


	<p>ます。施設を見学してもらいながら話を聞き、保育の様子等について丁寧に説明しています。また施設見学者には、交流保育、育児講座、ランチ交流等の案内を積極的に勧めています。ランチ交流会は原則毎月第3木曜日に年9回実施しています。同じ年齢のクラスに入り園児と同じメニューをいただくことで地域との交流を図っています。</p>
<p>IV-3 ボランティア・実習の受け入れ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア受け入れは「ボランティア受入マニュアル」が整備されており専任担当者が受付など対応をしています。 ・ボランティア受け入れの際はオリエンテーションでボランティアとしての心構えや保育の楽しさややりがいなどを丁寧に説明しています。 ・終了後にはボランティアの気づきや意見を記録し、職員会議で報告し今後の保育園の運営に反映させています。 ・実習生は毎年10人程度受け入れており、受け入れにあたっては担当者がマニュアルにそってオリエンテーションを行っています。 <ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーションでは園目標、保育姿勢など園の取り組みを説明し、実習生の要望を聞きながら進めています。 <p>最終日には実習生に感想や気づきを用紙に記入してもらい、担当者と反省会で振り返りを行い保育園の運営に反映させています。</p>



評価領域V 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>V-1 職員の人材育成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標共有シートを人事考課のツールとして活用し、人材の質的向上に努めています。具体的には、年度初めに職員一人一人が園長と目標共有シートをもとに面談を行い、自己目標及び目標達成のための計画を作成します。年度末には目標の達成状況や振り返りを自分で評価したものを園長と話し合っ課題を見つけ次年度の自己評価に反映させています。年度ごとの職員の自己評価だけでなく保育園の自己評価も実施し振り返りを行っています。 ・園内研修は研修計画をたて計画的に行っています。年度末振り返りを行い次年度につなげています。年間の研修受講の目標を設定し、経験年数や個々のニーズに合ったものを受講できるようにしています。園長も横浜市等の外部研修への積極参加を奨励しています。戸塚区の研修に参加してもらっています。 ・研修受講者が報告書を作成し、全職員に回覧するようにしています。その後受講者が園内研修をして、内容を職場全体にフィードバックし周知徹底しています。研修手帳を活用してキャリア形成に役立てています。園内研修は職員、非常勤職員ともに受講できるようになっており非常勤職員の人材育成にも努めています。 ・非常勤職員にもミーティングノートや会議録を全員が目を通すことができるようにチェック表を利用し周知を図っています。会議等の内容はクラスの担当者が必要なことを伝え、保育業務がスムーズに行えるようにしています。 ・クラス担任は職員と非常勤職員との組み合わせで構成され、日々の保育の中で資質向上を図っています。各クラスのリーダーや乳児幼児のリーダーが指導担当者の役割を担っています。会議やミーティング等で研修報告や園内研修の機会を設け、資質向上を図っています。

<p>V-2 職員の技術の向上</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標共有シートを活用し各職位にあった目標を定め取り組み、自己評価を行っています。 毎日の日誌、月ごと、期ごとのカリキュラムで自己評価を行い保育の質の向上に反映させています。園長は目標共有シートに基づき毎年度末に各職員に対して振り返りを行い課題を見つけるとともに各職員ごとの強みを延ばすように指導しています。 ・自己評価は正規職員だけでなくアルバイトも含め毎年行い、全職員の人材育成を図っています。 ・第三者評価を実施することで各職員がこれまで蓄積してきたスキルの振り返りと知識の共有に役立っています。職員の経験年数や役割に応じた内容の園内研修を実施しきめ細かく対応しています。オープン保育で他園へ行ったり、他園から保育士が来たりして学び合っています。 ・公開保育や夜間研修等に参加し技術の向上を図っています。職員の自己評価は結果を互いに報告し話し合う場をつくっています。 ・保育所の自己評価は毎年保護者アンケートを実施しています。結果については職員会議の場で検討し課題を共有するとともに次年度の課題として取り組んでいます。保育所の自己評価は保護者に園内の掲示板や各クラスに掲示し公表しています。
<p>V-3 職員のモチベーションの維持</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・各自目標共有シートを作成し、園長と人事考課の面談を年度初めと年度末に実施しています。年度末には園長と面談を行い、職位に応じた目標・役割期待、目標達成のためのプロセス、達成度等を振り返り、課題へつなげています。課題については翌年度の目標に反映させています。 ・職員が自由に意見を出し合える風土が定着しており、職員から改善提案がでた場合は改善の方法を話し合い、良い提案であれば早速取り入れるようにしています。保育園の運営への参画ということで職員のモチベーション向上につながっています。

評価領域VI 経営管理

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>VI-1 経営における社会的責任</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンスについては毎年研修を行い、全員で内容を確認し周知徹底し保育園の行動規準に反映しています。 ミーティングや職員会議にて他施設で起きた事案を周知し、事故防止の対応を話し合っています。過去の事例についてはヒヤリ・ハット事例集を作成し情報共有しています。 ・個人情報保護法のマニュアルが整備されており、職員はいつでも確認できるようになっています。こうした規定は業務マニュアルとして施設のかかる書庫に保管されています。 ・環境への配慮については「年間環境教育計画」の中でクラスごとに年間計画を作成しています。保育園のユニークな特徴として子どもに親しみやすい「ヘラスンジャー」と「ワケルンジャー」という名称を使い環境教育に親しんでいます。 ・年長児の活動として生ごみ処理機を利用して肥料作りをし、ゴミの分別を子どもと一緒にしています。雑草や落ち葉等を乾燥させてから廃棄する等ゴミの減量化にも配慮しています。

	<ul style="list-style-type: none"> ・室内の電気等こまめに切り、省エネに関する取り組みを行っています。また裏紙の有効利用をしています。 ・保育園の特徴として5S（整理、整頓、清掃、清潔、習慣）の取り組みを展開しており業務の効率化に役立っています。
<p>VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・園目標、保育理念、保育方針を掲示板や各クラスに掲示し、いつでも確認できるようにしています。職員のミーティングでの定期的な確認の他に、保育課程の定期的な見直しの際に併せて確認しています。 ・重要な意思決定については、懇談会に出席し保護者の意見や要望を聞き、また保護者会総会へ園長、主任が出席し保護者の意見を聞きコミュニケーションを図っています。 ・送迎時には保護者と挨拶を交わし、僅かな時間でも子どもの一日の様子を伝え保護者とのコミュニケーションを図っています。 ・保護者アンケートを実施し、保護者からの要望や意見は全職員で討議し、保護者へ回答しています。保護者アンケートの結果は掲示板や各クラスで公表しています。必要によって説明会をしています。また意見箱を設置し、保護者の意見を聞いています。 ・状況により異なる部門と検討チームを編成し課題解決に向けて柔軟に取り組んでいます。取り組み後は必ず振り返りを行い検討された事案については全職員で共有し今後に活かすようにしています。 ・人材育成ビジョンをもとに、主任クラスを計画的に育成するプログラムを整備しています。主任は日々の業務状況を的確に把握し、業務を各職員に振り分け、各職員がそれぞれの仕事に専念できるようバックアップし円滑な運営を実施しています。
<p>VI-3 効率的な運営</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症など保育園の運営に大きな影響を与える項目については速やかに情報を収集・分析し職員や保護者、子どもに周知しています。 ・保育課程を見直す際には、常に保育を取巻く環境変化を考慮して作成しています。 ・職員間でクラス、乳児、幼児、フリーなどの階層別に話し合いをしています。こうした提案は職員全体のミーティングで討議します。現場の情報が共有されるので日常業務の効率化に役立っています。 ・改善課題は会議やミーティングで話し合い周知しています。会議の記録はチェック表を使い、全職員が周知できるようにしています。

利用者家族アンケート

汲沢保育園

■結果の特徴

アンケート回収率 89.6% 送付数: 67 回答数: 60

保育園に対する総合的な満足度は「満足」、「どちらかといえば満足」を加えると93.3%となっており、満足度は非常に高いです。

園の保育目標・保育方針については、73.3%が「よく知っている」、「まあ知っている」と回答しています。知っている保護者の95.5%がその目標に賛同しています。

とくに満足度の高い項目

日常保育の内容について「遊び」では、「子どもが戸外遊びを十分している」、「クラスの活動や遊び」、「園のおもちゃや教材」、「遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もてている」、「生活」では「基本的な生活習慣の自立に向けての取り組み」、「昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されている」や、職員の対応について「あなたのお子さんが大切にされている」、「あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいる」、など満足度が特に高いです。

満足度が低い項目

「施設設備」、「年間の保育や行事に保護者の要望が活かされている」、「送り迎えの際、お子さんの様子に関する情報交換」、「残業などで迎えが遅くなる場合の対応」については満足度が低くなっています。

■保育園の基本理念や基本方針について

問1 あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存知ですか。	よく知っている	まあ知っている	どちらかといえばいい	あまり知らない	まったく知らない	無回答	計
(人)	11	33	8	8	0	0	60
(%)	18.3%	55.0%	13.3%	13.3%	0.0%	0.0%	100.0%

(付問) あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか。	共感できる	まあ共感できる	どちらかといえばいい	あまり共感できない	まったく共感できない	無回答	計
	30	12	2	0	0	0	44
	68.2%	27.3%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

■保育園のサービス内容について

問2 お子さんが入園する時の状況について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
見学の受け入れ方については	32	16	0	0	11	1	60
	53.3%	26.7%	0.0%	0.0%	18.3%	1.7%	100.0%

	<p>その他</p> <p>・2人目なので見学をしていません ・見学をしていないため ・見学をしなかったのわからない ・上の子が通っていたので見学していない ・よく知っていたので見学していない ・上の子が通っていたので見学なし ・見学を希望しなかったためわかりません ・見学していないので ・未見学・見学をしなかった為</p>						
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	33	19	2	0	5	1	60
	55.0%	31.7%	3.3%	0.0%	8.3%	1.7%	100.0%
	<p>その他</p> <p>・見学をしていないため・上の子が通っていたので見学していない・わからない・諸事情で準備品を事前に知りたかったが、説明会以前には全く教えてくれなかった。(布団カバーがまにあわないところだった) ・よくわからない</p>						
園の目標や方針についての説明については	26	30	2	0	1	1	60
	43.3%	50.0%	3.3%	0.0%	1.7%	1.7%	100.0%
	<p>その他</p> <p>・覚えていない</p>						
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応については	30	20	4	0	5	1	60
	50.0%	33.3%	6.7%	0.0%	8.3%	1.7%	100.0%
	<p>その他</p> <p>・入園時の面接の記憶がありません ・なし・面接は受けていません・特に無かった気がする・立合っていない為、不明</p>						
保育園での1日の過ごし方についての説明には	36	21	1	1	0	1	60
	60.0%	35.0%	1.7%	1.7%	0.0%	1.7%	100.0%
	<p>その他</p> <p>・</p>						
費用やきまりに関する説明については (入園後に食い違いがなかったかを含めて)	33	21	3	0	2	1	60
	55.0%	35.0%	5.0%	0.0%	3.3%	1.7%	100.0%
	<p>その他</p>						

問3 保育や行事の年間計画について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
年間の保育や行事の説明については	24	31	3	1	1	0	60
	40.0%	51.7%	5.0%	1.7%	1.7%	0.0%	100.0%
	<p>その他</p>						
年間の保育や行事に、保護	18	29	6	2	4	1	60

者の要望が活かされているかについては	30.0%	48.3%	10.0%	3.3%	6.7%	1.7%	100.0%
その他 ・まだ入園して1年目のため、活かされているかどうかはわかるのは今後になると思います・運動会の小学校開催を希望しているが一向にかいさいしてもらえない・よく考えてもらってると感じるが要望が活かされているのかどうかは判断しかねる。・特に気にしていない為							

問4 日常の保育内容について

「遊び」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
	クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど)	46 76.7%	13 21.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.7%
その他 .							
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	45 75.0%	15 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	60 100.0%
その他 .							
園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	44 73.3%	13 21.7%	3 5.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	60 100.0%
その他 .							
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	38 63.3%	20 33.3%	1 1.7%	1 1.7%	0 0.0%	0 0.0%	60 100.0%
その他 .							
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もっているかについては	44 73.3%	16 26.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	60 100.0%
その他 .							
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	37 61.7%	20 33.3%	3 5.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	60 100.0%
その他							

「生活」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
----------	----	------------	------------	----	-----	-----	---

給食の献立内容については	33	18	3	1	4	1	60
	55.0%	30.0%	5.0%	1.7%	6.7%	1.7%	100.0%
	その他 ・昼食の時間が早いので、おやつボリュームがもう少しほしい・内容はよいが量が少ない。・1ヶ月に同じメニューが2度ある						
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	40	17	2	0	0	1	60
	66.7%	28.3%	3.3%	0.0%	0.0%	1.7%	100.0%
	その他 ・						
基本的な生活習慣(衣服の着脱、手洗いなど)の自立に向けての取り組みについては	47	9	2	1	0	1	60
	78.3%	15.0%	3.3%	1.7%	0.0%		100.0%
	その他						
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	42	14	2	0	1	1	60
	70.0%	23.3%	3.3%	0.0%	1.7%	1.7%	100.0%
	その他 ・昼寝なしにも対応してほしい						
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	40	11	1	1	4	3	60
	66.7%	18.3%	1.7%	1.7%	6.7%	5.0%	100.0%
	その他 ・おむつはずしはまだ行なわれていない・まだおむつはずしの時期でないためわかりません・まだ始めていません・おむつはしていない。						
お子さんの体調への気配りについては	38	18	2	1	0	1	60
	63.3%	30.0%	3.3%	1.7%	0.0%	1.7%	100.0%
	その他						
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	36	20	1	0	2	1	60
	60.0%	33.3%	1.7%	0.0%	3.3%	1.7%	100.0%
	その他						

問5 保育園の快適さや安全対策などについて

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
施設設備については	15	23	15	5	2	0	60
	25.0%	38.3%	25.0%	8.3%	3.3%	0.0%	100.0%

	その他 ・古い・園庭が狭い						
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては	27	30	3	0	0	0	60
	45.0%	50.0%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	その他						
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	28	27	3	2	0	0	60
	46.7%	45.0%	5.0%	3.3%	0.0%	0.0%	100.0%
	その他 ・						
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	34	18	6	1	1	0	60
	56.7%	30.0%	10.0%	1.7%	1.7%	0.0%	100.0%
	その他 ・できればクラスも開示して欲しい、聞かないと教えてもらえない。						

問6 園と保護者との連携・交流についてうかがいます。

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	29	28	3	0	0	0	60
	48.3%	46.7%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	その他						
園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については	32	24	2	1	1	0	60
	53.3%	40.0%	3.3%	1.7%	1.7%	0.0%	100.0%
	その他 ・お誕生会の掲示がなくなり残念						
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	29	28	1	2	0	0	60
	48.3%	46.7%	1.7%	3.3%	0.0%	0.0%	100.0%
	その他						
送り迎えの際、お子さんの様子に関する情報交換については	25	27	4	4	0	0	60
	41.7%	45.0%	6.7%	6.7%	0.0%	0.0%	100.0%
	その他						
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	29	27	3	0	0	1	60
	48.3%	45.0%	5.0%	0.0%	0.0%	1.7%	100.0%
	その他						
保護者からの相談事への対	30	22	5	2	1	0	60

応には	50.0%	36.7%	8.3%	3.3%	1.7%	0.0%	100.0%
	その他 ・まだしたことがありません						
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応については	19	18	9	5	9	0	60
	31.7%	30.0%	15.0%	8.3%	15.0%	0.0%	100.0%
	その他 ・残業が発生したことがまだないので不明・質問の意味がよく分かりません、急な延長保育の希望に応じてくれるかどうかという意味でしょうか・したことがない・(時間外保育)届け出てないため1、2分遅れただけで厳しくおこられた・もとの時間を守る事をてていしている。不満はない・利用していない・使用したことがないので不明・迎えが遅くなることはない・わからない						

問7 職員の対応についてうかがいます。

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
あなたのお子さんが大切にされているかについては	43	16	0	1	0	0	60
	71.7%	26.7%	0.0%	1.7%	0.0%	0.0%	100.0%
	その他 ・						
あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	49	10	1	0	0	0	60
	81.7%	16.7%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	その他						
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	34	16	1	0	7	2	60
	56.7%	26.7%	1.7%	0.0%	11.7%	3.3%	100.0%
	その他 ・自分に該当しないためよく分かりません・していると思う・よくわかりません・不明・よくわからない・アレルギーでもしょうがいでもない・わからない						
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	37	17	3	2	1	0	60
	61.7%	28.3%	5.0%	3.3%	1.7%	0.0%	100.0%
	その他 ・保育士と話す機会がほぼない						
意見や要望への対応については	32	19	4	3	2	0	60
	53.3%	31.7%	6.7%	5.0%	3.3%	0.0%	100.0%
	その他 ・出したことがない・したことない						

問8 保育園を総合的に評価すると、どの程度満足していますか。

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	無回答	-	計
総合満足度は	35	21	3	1	0		60
	58.3%	35.0%	5.0%	1.7%	0.0%		100.0%

利用者本人調査（保育観察）

保育所名	汲沢保育園	調査日	2016/12/14 2016/12/15	調査機関	公益社団法人 けいしん神奈川
------	-------	-----	--------------------------	------	-------------------

クラス (年齢)	時間帯	保育の様子・子どもの様子	
0歳児 組			
1歳児 りす組	12月14日 10時 保育室 12月15日 16時 園庭	保育室で子どもたちがグループでブロック遊びを楽しんでいます。ほとんどの子どもはしっかりと立ち歩きをしています。3時のおやつ時間はおいしそうに雑談も交えています。夕方、園庭で遊んでいます。ジャングルジムで数人の子どもが遊んでいます。保育士は安全に気を付けながら見守っています。小さいシャベルを使いお皿に砂を盛っています。やはり保育士が側にいて見守っています。砂でお団子を作っている子どももいます。ほとんどの子どもは砂遊びを夢中になって楽しんでいます。	
2歳児 こあら組	11月15日 9時50分 保育室 11月16日 16時 園庭	保育自由遊び時間は数人のグループがテーブルの上で粘土で遊んでいます。丸い団子を作り縦に積み上げて得意そうにしています。段ボールで作った風呂に入り楽しそうにお風呂ごっこをしています。クレヨンを上手に使い紙に絵を書いている子どももいます。夕方、園庭での遊びが始まります。寒いのでジャンパーを着て外に出ています。保育士が上手に着れない子どもには見守りと手助けをしています。園庭では子どもたちが砂遊びを楽しんでいます。5~6人の子どもが食事づくりごっこをしています。フライパンや容器に砂をいっぱい詰めて保育士と一緒に盛り付けを楽しんでいます。玩具のトラックの荷台に山盛りにして押している子どももいます。	
クラス (年齢)	保育の様子・子どもの様子		子ども本人からの聞き取り
3歳児 うさぎ組	12月14日 9:40 保育室 12月15日 16:00 保育室	給食のおかずはいんげんとダンドリ-チキンです。一人ずつ椅子に座って仲良く美味しそうに食べています。各テーブルは3人が向かい合ってすわり行儀よく食べています。箸を上手に使っています。お代わりをする子がたくさんいます。保育士も一緒にテーブルに着き子どもたちと話をしながら食事をしています。終わったあとは「ごちそうさまでした」と挨拶し自分で食器を片づけています。食事を早く終えた子どもは自分で歯磨きをしパジャマに着替えています。食事がまだ終わっていない子どもには先生が「早く食べようね」とやさしく声を	給食の時間に「緑の野菜は何ですか」と声を掛けると数人の子どもが元気よく「いんげん」と答えてくれます。給食はおいしいですかと質問すると、あちこちで「おいしい」という声が返ってきます。隣の子どもに何が一番好きですかと質問

		かけたり、食事を手伝っています。みんな楽しそうです。	すると「カレーライス」と答えます。
4歳児 ぱんだ 組	12月14日 11時45分 保育室 12月15日 16時 屋上	保育室で数名の子でどもがブロックで列車やガンダムのようなものを組み立て遊んでいます。隣では保育士とお姫様ごっこをしている子がいます。ショールやヘアバンドを頭に掛けて気分を出しています。夕方、屋上で元気に遊んでいます。土俵のような円を描き中に5～6人が中に入り外の人がボールを転がして中の子どもの足に投げ入れています。ボールに当たらないようにしてゲームを楽しんでいます。保育士は周りに立って見守っています。長なわ跳びを保育士と一緒にしている子どもたちがいます。上手にジャンプする子、上手く抜けられない子もいます。1人でボールを蹴って遊んでいる子や楽しそうに駆けている子もいます。	給食の時間に「おいしいですか」と声を掛けると「全部おいしい」と答えてくれます。別の子は「タンドリーチキンはちょっと辛い」といっています。カレーライスは大丈夫ときくと「大丈夫と」答えます。
5歳児 きりん 組	12月14日 11時45分 保育室 12月15日 16時 屋上	給食の準備をしています。お当番が主食のご飯を各人のテーブルに配膳しています。慣れた手つきで上手にお茶碗を持ち運んでいます。配膳が済んだ後二人の当番が元気に献立の説明と開始の挨拶をして皆が食べ始めています。数人のグループが正月の遊びのコマ回しをして遊んでいます。紐を上手にコマに巻き付け床に投げて回しています。上手く回った時には歓声をあげています。別の数名はダルマ落として遊んでいます。あまりうまく落とせないのか繰返し挑戦しているようです。夕方、屋上ではオレンジの帽子と白の帽子のチームに分かれてドッジボールで楽しそうに遊んでいます。	おやつこの時間に子どもたちがデザートを食べています。これは何ですがと質問すると「？白雪のゼリーかけ？」と嬉しそうに教えてくれます。
備考	子どもの遊びは、やや小規模の園庭と建物の屋上の遊び場を、それぞれのクラスが有効に使っています。屋上でのドッジボールやボール遊びは子供たちの人気が高い遊びとなっています。又また三輪車も5台ばかりあり、3人が乗っています。栽培活動も園庭や屋上で行っています。		

事業者コメント

第三者評価を受審して

当施設は、昭和45年7月に開園し（昭和63年11月改築）現在にいたっています。そして、第三者評価の受審も平成21年度に続き2度目となります。今年度は、職員の入れ替わりがほとんどなかったので受審のタイミングがとても良かったと感じました。一つ一つ自己評価項目を進めていく過程の中で認識が微妙に異なっていたものもあり、話し合いを重ねることで確認や共通認識ができました。また、全員が集まる時間を設定する難しさもありましたが、保育のことを話し合うとても良い機会となり、チームワークもさらに深まりました。

保護者の方からのアンケートでは、職員にとって励みになるご意見をたくさんいただき大変嬉しいことでした。ご指摘をいただいた項目については、今後の課題として職員と共にすぐに取り組んでいきたいと考えております。

子どもたちだけでなく保護者や地域にとっても大好きな保育園であるように、職員一人一人が日々向上心を持ち職員連携を大切にして安心・安全・安定した保育に取り組んでいきます。そして、より一層質の高い保育を提供できるよう職員一同努力をしてまいります。